

## 平成29年度「運輸安全マネジメント」に基づく公表について



平成30年3月30日安全統括管理者  
喜多正美 専務取締役が責任者となり  
平成29年度の「運輸安全マネジメント」  
に基づく内部監査を実施した結果は、  
次の通りです。

記

対象項目

### <1> 輸送の安全に関する基本的な方針

1. 全社員には日々の「点呼」「朝礼」「幹部会」「教育」「表彰式」等、あらゆる機会をとらえ、「運輸安全マネジメント」の導入と実施義務について啓発した。
2. 社内掲示並びに弊社ホームページに掲載している。  
上記の状況から「輸送の安全に関する基本的な方針」は周知徹底していたと評価する。

### <2> 輸送の安全に関する目標及び当該目標の達成状況

1. 車内事故防止・・・軽微であったもののゼロではなかったため、次年度はゼロ目標として取り組む。
2. 乗降時の安全再確認・・・不十分であるケースが見受けられる。
3. 安全三原則の遵守・・・幸い、安全三原則を逸脱する事故等はなかった。
4. 乗務員教育・・・ビデオ視聴教育5回、外部から講師を招き交通安全教育を6回実施した。
5. 毎月スケジュールを組み、幹部社員による街頭指導、添乗指導、路線パトロール等乗務員の指導を実施した。
6. 健康診断・・・9月、3月に実施した。  
以上の通りであった。

### <3> 自動車事故報告規則第2条の事故に関する統計

平成30年2月14日車庫内に於いて、乗務員が運行担当車輦の下敷きになり死亡するという事故が発生した。

平成30年4月1日  
帝産湖南交通株式会社  
専務取締役  
安全統括管理者 喜多正美